



平成27年11月号

社会福祉法人翠浩会  
障害者支援施設

新 光 苑

http://www.shinkoen.net/  
〒360-0832 熊谷市小島527番地  
TEL. 048-532-0665

**株式投資「正攻法50年」**  
**苑長 西田良次**



10月8日、東京証券取引所に、日本郵政(株)・(株)ゆうちょ銀行・(株)かんぽ生命の3社の新規上場に伴う株式の受け付けが始まり、申込みが殺到して、希望する株数の入手が難しいと報じています。今回の3社の株については、しっかりとした保証があるので、株式投資をしていない一般人の人の申込みが多かったのではと伝えていきます。

私も70年近く実業家として、経済状況の変化に敏感に反応しなければなりませんので、株式市況は注意して見て来ましたが、これ程難しく、全く予測出来ない世界はありません。どんな秀才であれ、経済学者、証券マン、事業家でも、この世界は一寸先は闇で見当が付きません。

私は父親から「商売で賭けて、その上株で賭けようなんて、欲の深いことはするな」ときつく云われてきましたので、商売一筋で来ました。

今年も未年で「辛抱」の年と云われていますが、前半はギリシャ問題で株価は乱降下し、それも収まって順調に回復して来たかと思っていました。

しかし、中国の経済減速が伝わるや株価は大暴落、こゝに来て1万9千円台に回復しましたが、投資家にとっては、気の休まらない年ではと思います。

誰がどのようにして株価操作をしているのかは

解りませんが、世界の富が一部の富裕層に集まっている事は否定出来ないように思います。

6月7日の朝日新聞に『投資の神様 正攻法50年』の見出しで、「投資の神様」として世界で知られるウォーレン・バフェット氏(84)が、投資会社「バークシャー・ハサウェイ」を率いて50年、ヘッジファンドと違って「割安の優良株に長期投資」という正攻法が個人投資家から尊敬を集めているとの記事が載っていました。

『世界から集まった4万人超の株主に対し、7時間のマラソン総会で、会社の業績や経済の先行きについて次々と出される質問に、1人でよどみなく答えてゆく。株主総会に関係ない質問もある。

Q 人生で大事なのは？  
A 頭が良いこと以上に、信頼に値する人であるかどうかが大事。

Q 影響を受けた本は？  
A アダム・スミスの「国富論」

特に個人投資家から尊敬されるのは、その投資哲学にある。複雑な運用手法を使いこなすのではなく、企業の本質的な価値を見極め、割安株に長期集中投資する。投資先企業が成長する限りは持ち続ける。

「事業の内容を自分が理解できない会社には投資しない」が原則、アップルなどは対象とせず。飾らない人柄も人気の秘密だ。60年近く前に約3万ドルで買った自宅にいまも住む。パークシャーから受取る給与は年10万ドル(約1250万円)で長年据え置いている。以下略。』

株式投資は危険な賭け事のように思われていますが、平均2割の配当を継続している実績を見ると、最も賢明な利殖に思えます。日本の証券マンの中に、氏のような人が居たら、是非お世話になりたいと思います。……。

# 運動会

## 先崎 歩

10月12日(月)、ホール棟を会場として、利用者・保護者・職員が参加して運動会が盛大に開催されました。

午前10時30分、苑長の開会の挨拶のあと、前年度優勝の青組から、優勝トロフィーが返還され、選手宣誓は、緒方祐介さん・矢島恵子さん・矢野明美さんが力強く行いました。

最初の競技は菓子食い競争で、お目当のお菓子を目掛けて全力疾走しました。

次は、職員対抗リレーで、様々なお題にそってチーム一丸となって走りました。

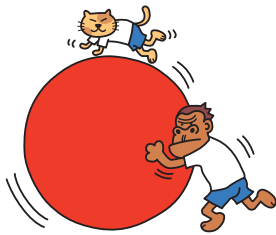
3種目は、玉入れです。各組2回戦に分かれ、真ん中にある箱の中に玉を入れる競技で、各チーム一生懸命玉を投げていました。

昼食は、食堂・新棟食堂・テラス席を設け、テーブルごとに楽しい食事を取りました。

午後は、毎週木曜日に指導に来て頂いている「グッドネスクラブ」の進行のもと、並んでいる輪にボールを入れピンゴを作るゲームでした。

最後の混合リレーは利用者・職員の組み合わせで、最も白熱したものでした。

表彰式で優勝は赤組、MVP賞は園田樹史さんが選ばれました。熱狂と興奮の運動会も副苑長の閉会の挨拶で無事終了しました。来年はどの組が優勝するか、また皆で力を合わせて頑張りましょう。



# 文化作品展見学

## 大野由香子

11月7・8日に、イオン狭山店にて文化作品展が開催され、新光苑からは、2日間に分けて菅井・室岡・野村・矢島利用者、田中・西田・松崎利用者が参加しました。当日は、ゆっくりと他施設の作品を鑑賞する事ができ、芸術的な作品の数々に、みなさん目を丸くして真剣に見入っていました。ほほえましい作品や、とても手の込んだ作品など、一つ一つが個性豊かで、驚かされるものばかりでした。新光苑からは日中活動で制作した作品を出品しました。「来年の新光苑の文化祭で作ってみたい」「これはどうやって作ったのだろう」と、みなさん大興奮でした。

他施設の力の籠もった作品の数々を見て、創作意欲が掻き立てられ、良い刺激となり、大満足な文化作品展でした。



次回は、28年1月15日の発行になります。



# 児童デイサービス

## 「ひかり」

熊谷理美

昨年11月に開所した児童デイサービス「ひかり」は、1年経過しました。10名だった児童も現在は14名に増え、毎日にぎやかに過ごしています。

普段学校がある日は15時過ぎに来苑し、体調確認・おやつタイム・レクリエーション活動という流れで過ごしています。活動内容は季節に合わせた工作をしたり、音楽クラブではいろんな楽器を演奏して楽しんでいきます。また、苑の周りには自然がいっぱいなので、散歩をして自然と触れ合いリフレッシュしています。また、夏休みの長期休暇にはいつもは出来ないようなプール・しゃぼん玉・スライム作り等行い、皆の笑顔がたくさん見られました。入所利用者と関わる機会も多くなり、夏休みはホール棟と一緒にレクリエーションを行いました。「ひかり」のお部屋に遊びに来てくれる利用者も増え、子ども達も良い刺激になっています。

今後も「ひかり」でしか出来ないような活動をし、「楽しい、明日も来たい」と思えるような場所にしていきたいです。子ども達の笑顔で溢れる「ひかり」になればと思います。



# 相談支援センター

## 「さくら」

野口亜理紗

当センターは、平成26年10月1日に熊谷市の指定を受け、新光苑内に開所しました。特定相談支援事業と障害児相談支援事業を行っています。

相談支援事業とは、障害者総合支援法及び児童福祉法に基づき、障害者や障害児が自立した生活を営む事ができるよう、課題解決や適切なサービスの利用に向けて、きめ細かく支援する為の計画を作成するものです。利用者や家族の希望や意向を聞き、利用者に合ったサービス提供事業所の情報提供や利用調整、定期的なモニタリング（見直し）を行っています。

現在、契約者は入所利用者を含めて123名です。地域の方は生活介護や短期入所、放課後等デイサービスを利用している方がほとんどで、相談支援によって、新光苑や児童デイサービス「ひかり」の利用に繋がった方もいます。障害の種類は、身体や知的、精神等さまざまな方を対象にしています。



次回は、28年1月15日の発行になります。





# ふれあい広場

松田しずか

10月24日(土)、熊谷スポーツ文化公園にて熊谷市社会福祉協議会が主催する第26回熊谷ふれあい広場が開催されました。

この熊谷ふれあい広場は、市民の福祉に対する理解を深め、福祉の心豊かな地域社会づくりを目的としています。40からの様々な団体が参加しバザー・食べ物・手作り雑貨など販売していました。



10月29日、30日の2日間、日本でもすっかり定番のイベントとなったハロウィン仮装パーティーを行いました。ホール棟の一角を手作りオバケ、カボチャ、ランプで飾り、今日のために集めた仮装グッズを並べ、仮装大会がはじまりました。オレンジの帽子やリボン、角つきマントなどで自分の好きな仮装グッズを選び「ハイ！ポーズ」で記念撮影。はじめに恥ずかしがっていた利用者の方でも「普段と違って仮装楽しかったね。」と喜んで頂きました。来年も、ハロウィンイベントを楽しめるよう準備していきたいと思えます。

# ハロウィン 仮装パーティー

塩谷佳奈

わが新光苑では、手作りのクッキー、甘酒、石けん、雑貨等を販売しました。手作りクッキーは人気があり開会して2時間足らずで完売しました。参加した7名の利用者にも手伝って頂き又、他施設団体の方々にも触れ合う事ができ良い経験になりました。普段、なかなか外出できない参加した利用者も沢山のお店を見学し、買い物ができ笑顔も見られ楽しそうでした。

一日を通して天気にも恵まれ、販売品もほぼ完売する事ができ、充実したふれあい広場になりました。



# 編集後記

隣の運動公園のいちょうも黄色に染まり、ハラハラ散るのを見ていると、秋の深まりをひとしお感じます。それにしてもこの気温の高さは、どうでしょうか。